

令和 6 年度 (第20期) 事業報告

令和 6 年度 (第20期) 決算報告

令和 7 年度 (第21期) 事業計画

令和 7 年度 (第21期) 予 算

株式会社野田自然共生ファーム

第20期事業報告

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稲生産と水田型市民農園を実施すると共に、自然環境保全管理、コウノトリ飼育及び飼育施設等管理に取り組んでまいりました。

船形地区においては、船形互助転作組合から農地を借用し、麦及び大豆の生産を行いました。

さらに、野田市堆肥センター運營業務、野田市農業人材育成事業、野田市木野崎農業構造改善センター施設管理業務、関宿落堀ビオトープ管理業務、小船橋水辺公園管理業務、尾崎地区保全業務等を行ってまいりました。

なお、農業経営については、効率的経営や品質向上に努めてまいりました。

1 江川地区の農業

現在でも圃場の含水率が高く作付けが困難な箇所もありましたが、引き続き圃場の再整備を図り、安定した収穫を目指しました。

(1) 圃場整備作業

水稲生産予定区域において、除草作業、水路の整備作業、土の搬入による均平整地作業や、イノシシに荒らされた箇所の修復作業等を実施しました。

(2) 水稲生産

江川地区の水田については、令和6年度も均平化整備、除草作業等の管理を行うなど、自然と共生する環境保全型農業を推進しました。

生産目標面積は4.5ha、目標収穫量は10tとして作付けを開始しました。

8月までは順調に生育し収穫期を迎えましたが、台風10号の影響により約1ha程が倒伏し、約0.5ha程収穫を断念したことから、実質約4.0haからの収穫となりました。

令和6年度の総収穫量及び出荷米の数量は下記のとおりです。

単位：kg

品種名	JA 出荷米	市民農園配布	一般販売	くず米	総収穫量
コシヒカリ	1等 3,150 2等 3,840	1,393	935	844	10,162

(3) 江川地区水田型市民農園

これまで同様、参加者の安全を最優先にファミリー型とオーナー型の2種類を企画し、スタッフの指導で田植え、草取り、稲刈りを実施し、その他に自然観察会、ホテル観察会、収穫祭を開催しました。

いずれも怪我や事故、体調不良者も無く、参加者の好評を得て終了しました。

令和6年度の結果は、下記のとおりです。

型 式	ファミリー型	オーナー型
対 象	一般市民等	団体等
区画数	募集区画数 500区画 (1区画30㎡) 受付区画数 131区画 作付面積 3,930㎡	募集区画数 40区画 (1区画150㎡) 受付区画数 14区画 作付面積 2,100㎡
参加者数	参加者数 142人 内訳 大人 80人 子供 51人 3歳以下 11人	参加者数 148人 内訳 大人 113人 子供 30人 3歳以下 5人
	野田市内 118人(41%) 野田市外 172人(59%)	
合 計	290人	

(4) エコロジカル・ネットワークへの取組

コウノトリ野生復帰保全計画を支援するため、魚道の整備や池の水辺だしによる生ものの生息域の確保を図りました。

更には、休耕地の除草等を実施し、江川地区の里山の保全に努めました。

なお、野田市と連携し、6月2日(日)には新潟大学の関東エコロジカル・ネットワーク学外学習、6月22日(土)には自然と人を育む地域づくり推進協議会の「みずべの生きもの調査体験会」や、野田市立福田第一・第二小学校の田んぼの生きもの調査に協力しました。

(5) 農業体験学習等への協力

1) 地元小学校の農業体験学習

4月24日(水)実施された福田第一・第二小学校5年生の田植え、7月8日(月)の稲の生育観察会及び生きもの調査、9月5日(木)の稲刈りに協力しました。

2) 地元中学校のフィールドワーク

9月28日(土)に実施された福田中学校の江川地区でのフィールドワークに協力しました。

3) 実習受け入れ

東京薬科大学2年生1名を9月2日(月)から9月6日(金)まで、大正大学2年生1名を10月17日(木)から10月30日(水)まで受け入れ、インターシップ実習に協力しました。

(6) 江川地区自然環境保全管理業務

江川地区の自然に配慮した水田の維持管理作業、自然環境に配慮した水稻栽培を実施すると共に、保全樹林地の倒木処理や不法投棄の見回りと回収、休耕地や農道、あぜ道の草刈りも行い、自然環境保全に努めました。

なお、近年、江川地区にもイノシシが出現していることから、生息域を狭くするため、休耕地（ヨシ原）の除草作業と野田市や猟友会と連携し、くくり罠等による捕獲などの対策を講じました。

2 船形地区の農業

(1) 農業生産

船形互助転作組合より、集団転作事業に基づくブロックローテーションの農地と固定団地の農地を借用しました。

1) 麦生産

令和6年産の麦は、5月から6月にかけて刈り取り作業を行いました。

麦の品種、作付面積及び出荷量、種子更新分の状況は下記のとおりです。

単位：kg

区 分		J A 出荷		種子更新分	計
品 種	作付面積				
大麦（カシマムギ）	13.3ha	2等	44,000	350	44,350
小麦（さとのそら）	57.3ha	1等	242,000	3,184	253,184
		2等	8,000		
合 計	70.6ha		294,000	3,534	297,534

2) 大豆生産

令和6年度の大豆は、7月の播種後に雑草抑制のため除草剤の散布や、生育管理のため殺菌剤・殺虫剤の散布を行い、11月の下旬から12月中旬に収穫しました。

大豆の品種、作付面積及び出荷量、種子更新分の状況は下記のとおりです。

単位：kg

区 分		J A 出荷		直売用	種子更新分	計
品 種	作付面積					
タチナガハ	4.5ha	2等	3,690	600		4,410
		3等	120			
サチュタカ	10.0ha	2等	19,380		420	20,730
		3等	930			
フクユタカ	16.0ha	1等	14,220		1,260	34,230
		2等	14,250			
		3等	4,500			
里のほほえみ	15.5ha	2等	22,080	900	1,050	27,660
		3等	3,270			
		特定加工	360			
合 計	46.0ha		82,800	1,500	2,730	87,030

(2) 農業生産調整

船形互助転作組合より、令和7年産麦の集団転作事業に基づくブロックローテーションの農地と固定団地約60haの農地を借用し、11月から12月にかけて麦を播種しました。

(3) 枝豆オーナー制度

令和6年度は、播種機の調整不足により発芽不良となり、当初申込の区画には足りなかったため、近隣農園にご協力いただき受け入れて頂きました。

ただし、5組9区画の参加者については、6月末から7月末に収穫作業を実施することが出来ました。

3 農業関係施設の運営事業

(1) 野田市堆肥センター運營業務

廃棄物の発生抑制と再利用を促進するため、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産しました。

また、もみ殻牛ふん堆肥や剪定枝等堆肥の運搬散布を行い、野田市独自の有機堆肥を使って生産した農産物のブランド化を推進しました。

更に、野田市畜産クラスター推進協議会からの依頼により、もみ殻SGS(ソフト・グレイン・サイレージ)加工作業を実施しました。

1) 搬入量

①剪定枝・刈草・落葉搬入量----- 約3,145t(前年度比+144t)

②もみ殻回収量----- 約722t(前年度比-112t)

2) 搬出・運搬量

①剪定枝等堆肥の搬出量----- 約875t(前年度比+54t)

②もみ殻牛ふん堆肥の運搬量----- 約786t(前年度比+253t)

3) 飼料用米粉砕加工(SGS)

①多収性品種米(加工量)----- 約163t(前年度比-5t)

②一般品種米(加工量)----- 0t(前年度比±0t)

(2) 野田市木野崎農業構造改善センター施設管理業務

本社機能を有する野田市木野崎農業構造改善センターについて、野田市から施設管理業務を受託し、適切に施設管理を行いました。

令和6年度の施設の利用状況は、137件、1,342名で、主に地元自治会の会合や味噌づくり等に利用されました。

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設管理を図るため、以下の業務を実施しました。

園内の管理 受託面積 約1.3ha	
除草・芝刈	芝生の刈取りと雑草の除草作業を年4回実施
高木の剪定	枝の剪定と整枝、片付け作業を年1回実施
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃を週1回実施
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回を週1回実施

(2) はきだし沼周辺田の整地業務

船形耕地のはきだし沼及びその周辺に生息する希少生物の生育環境整備のため、年2回の除草作業及び1回の整地作業を実施しました。

(3) 関宿落堀ビオトープ管理業務

関宿落堀の良好な自然環境を維持するため、年4回の除草作業及び月1回の見回りとごみ拾いを実施しました。

(4) 尾崎地区保全業務

生物多様性の保全された良好な自然環境に回復させるため、令和6年12月に除草作業と不法投棄物の回収を行いました。

5 コウノトリ飼育及び飼育施設等管理業務

野田市が生物多様性のシンボルとして位置づけているコウノトリについて、コウノトリ飼育等業務を受託し、飼育管理を行うと共に、飼育施設の管理、視察や見学者の対応、グッズの販売、放鳥個体の採餌環境整備などを行いました。

(1) 飼育

飼育個体にあわせ適切な管理に努め、夏季期間中は、猛暑対策として遮光箇所を増設しました。

また、令和6年9月から高病原性鳥インフルエンザ対策を進め、11月から飼育ペア（「コウくん」「コウちゃん」）は半分に仕切られたケージで飼育を行いました。

飼育ペアは令和7年2月に交尾が確認されましたが、野外ペアの繁殖成功を目指したことから、繁殖抑制を行いました。

その他、異常が確認された個体は、獣医師の診察のもとで投薬を開始し、治療を行いました。

(2) 繁殖

令和6年2月から、「ヤマト」と「ひなた」の新規野外ペアが施設周辺で自然繁殖を開始したため、飼育ペアの繁殖・放鳥を中止しました。

野外ペアは、4月に孵化を推定、5月に足環装着と検体採取を行い、7月には幼鳥2羽（「たける」と「だん」）の巣立ちを確認しました。

また、令和5年10月にペアリングのため東京都多摩動物公園に移送した「ミライ」は、令和7年3月に産卵が確認され、ペアリングに成功しました。

（3）来館者

このとりの里観察棟は、高病原性鳥インフルエンザの影響を受け、令和7年1月4日から休館としましたが、令和7年2月18日より一般公開を再開しました。

令和6年度の入場者数（来館名簿記入者）は5,429名で、前年度より548名増加しました。

（4）その他

令和6年5月には、栃木県小山市、茨城県神栖市、行方市の野外繁殖した幼鳥の足環装着に協力しました。

また、年間を通じてSNSを活用した情報発信を行うと共に、令和6年11月には「ジャパン・バード・フェスティバル2024」、令和7年2月には「コウノトリまつり2025」にて出店し、コウノトリグッズの販売を行いました。

6 農業人材育成事業

新規就農希望者に対して、野菜の栽培方法等について指導しました。

具体的には人参、枝豆、ブロッコリー、玉ネギ等を栽培し、総収量15,430kgを市場及び直売所へ出荷しました。

なお、前年度同様に令和6年度の就農希望者は述べ人数4名でしたが、新規就農には至りませんでした。

また、新たに有機農業を推進するため、令和7年1月に野田市が立ち上げた「野田市有機農業研究会」に加わり、2月には有機農業の実践圃場として鶴奉地先の約0.7haの農地について地権者と借地契約を締結しました。

交付団体等	名 称	摘 要	金 額
関東農政局	畑作物の直接支払交付金	麦の作付面積に対する交付金	13,474,000
		大豆の作付面積に対する交付金	8,836,000
		麦の生産量と品質に対する交付金	11,133,066
		大豆の生産量と品質に対する交付金	4,805,760
	水田活用直接支払交付金	水田を活用した麦や大豆等を生産する農業者への支援	30,666,255
千葉県	大規模ブロックローション促進事業補助金	麦・大豆等の作付推進に対する補助金	7,814,000
野田市 (野田市農業再生協議会)	転作定着化促進事業補助金	継続した転作作物の作付の奨励を目的とした補助金	293,000
千葉県農業共済組合 (東葛飾植物防疫協会)	損害防止事業交付金	農業共済に加入している散布圃場に対する交付金	111,400
合 計			77,133,481

8 取締役及び他の役員（第20期 令和6年度）

区 分	氏 名	備 考
代表取締役	今村 繁	野田市副市長
専務取締役	菅野 透	
取 締 役	川路 隆之	野田市建設局長
取 締 役	宇田川 克巳	野田市自然経済推進部長
取 締 役	永井 盛雄	江川事業所長
取 締 役	大塚 正和	船形事業所長・農業人材育成事業所長
会 計 参 与	秋葉 芳秀	税理士
監 査 役	濱田 宏志	税理士

9 株式の状況（令和7年3月31日現在）

(1) 株主数・・・4名

(2) 株主

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
千葉県野田市	6, 206株	99.9195%
菅野 透	3株	0.0483%
永井 盛雄	1株	0.0161%
大塚 正和	1株	0.0161%
計	6, 211株	100%

10 経過概要

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの主な経過概要

月 日	曜日	主 な 経 過 概 要
4月 1日	月	大塚正和取締役就任
4月 15日	月	種子大豆検査
4月 24日	水	農業体験学習 福田第一・第二小学校 田植え
4月 26日	金	*見守りカメラでコウノトリ野外繁殖ヒナの誕生を確認
4月 28日	日	江川地区水田型市民農園① 田植え *コウノトリ野外繁殖ヒナ2羽を確認
5月 17日	金	J Aちば東葛大規模営農組織協議会出席
5月 21日	火	茨城県神栖市・行方市野外繁殖コウノトリ足環装着協力
5月 23日	木	栃木県小山市野外繁殖コウノトリ足環装着協力 農産物加工推進協議会総会出席
5月 24日	金	定時取締役会
5月 25日	土	ゆめあぐり野田通常総会出席
6月 1日	土	川路隆之取締役就任
6月 2日	日	新潟大学校外学習協力
6月 3日	月	大豆検査
6月 6日	木	高病原性鳥インフルエンザ警戒体制解除
6月 16日	日	江川地区水田型市民農園② 草取り及び自然観察会
6月 22日	土	「みずべの生きもの調査体験会」協力
6月 26日	水	第17回コウノトリと共生する地域づくり推進協議会総会出席 川間中学校職場体験学習受入（～27日）
6月 27日	木	東京大学大学院「生物多様性科学実習」協力

7月 1日	月	*野外営巣の巣からコウノトリのヒナ1羽（たける）が巣立つ
7月 3日	水	*野外営巣の巣からコウノトリのヒナ1羽（だん）が巣立つ
7月 8日	月	福田第一小学校・第二小学校 稲の生育観察・田んぼの生き物調査
7月 9日	火	小麦検査
7月 21日	日	江川地区市民農園③ ホタル観察会
7月 31日	水	野田市畜産クラスター推進協議会総会出席
8月 5日	月	SGS加工作業（～10日、19日～23日）
8月 25日	日	江川地区水田型市民農園④ 稲刈り
8月 26日	月	もみ殻回収開始
8月 28日	水	定時取締役会
9月 2日	月	東京薬科大学より実習生受入（～6日）
9月 5日	木	農業体験学習 福田第一小学校・第二小学校 稲刈り
9月 18日	水	福田中学校出前授業
9月 19日	木	福田第二小学校校外学習協力
9月 28日	土	福田中学校フィールドワーク協力
10月 2日	水	SGS事業反省会議及び令和7年度実施計画会議出席 獣医師との勉強会
10月 6日	日	江川地区水田型市民農園⑤ 収穫祭
10月 7日	月	高病原性鳥インフルエンザ第一次対応開始
10月 9日	水	えだまめオーナー制度反省会議出席
10月 10日	木	JA大規模営農組織協議会出席
10月 17日	木	大正大学より実習生受入（～30日）
10月 18日	金	高病原性鳥インフルエンザ第二次対応開始
10月 20日	日	千葉大学大学院生きもの調査協力 廃プラ回収協力
10月 23日	水	高病原性鳥インフルエンザ第三次対応開始
10月 24日	木	愛知県江南市議会 堆肥センター視察見学
10月 27日	日	野田むらさきの里ふれあいウオーク 2024 協力
11月 2日	土	「ジャパンバードフェスティバル 2024」参加 グッズ販売（～3日）
11月 6日	水	コウノトリ一斉捕獲及び飼育個体の健康診断実施
11月 10日	日	福田地区歩け歩け大会協力
11月 22日	金	地域づくりネットワーク第18回連絡会出席
11月 28日	木	船形互助転作組合総会出席
11月 29日	金	第12回コウノトリの保全に関する有識者会議出席
12月 11日	水	田園自然再生活動の集い WEB参加
12月 18日	水	関東エコネットオンライン交流学習参加協力
12月 25日	水	定時取締役会
12月 30日	月	令和7年1月4日より、高病原性鳥インフルエンザ第四次対応開始の 為、「こうのとりの里」臨時休館決定
1月 24日	金	優良従業員表彰受賞（受賞者 総務主任）
1月 29日	水	大豆検査
1月 30日	木	第1回野田市有機農業研究会出席
2月 1日	土	「こうのとりの里まつり 2025」参加 グッズ販売（～2日）
2月 6日	木	JAちば東葛大規模営農組織協議会出席
2月 10日	月	大豆検査
2月 12日	水	メンタルヘルスケア研修受講
2月 13日	木	日本農業実践学園へ有機農業視察研修（茨城県水戸市）

2月 14日	金	労務管理講習会参加
2月 18日	火	「こうのとりの里」開館再開 大豆多収研究発表会 WEB 受講
2月 19日	水	野田市畜産クラスター推進協議会会議出席
2月 25日	火	大豆セミナー WEB 受講
2月 28日	金	ブロックローテーション地区合同地域計画協議出席
3月 1日	土	船形事業所にて「千葉県の農業の雇用就業相談会」参加
3月 4日	火	「ヤマト&ひなた一家家族の記録展」パネル展示協力（～11日）
3月 6日	木	内定者研修 WEB 受講
3月 13日	木	IPPM-OWS 令和7年度托卵調整会議出席
3月 16日	日	千葉県獣医師会獣医学術年次大会市民公開講座にて講演（コウノトリ主任飼育員）
3月 19日	水	ハラスメント研修 WEB 受講
3月 21日	金	地域づくりネットワーク第19回連絡会出席 GAP 講習会参加
3月 26日	水	定時取締役会 臨時株主総会 IPPM-OWS 令和7年度総会出席

第 2 0 期

決 算 報 告 書

令 和 6 年 4 月 1 日 から

令 和 7 年 3 月 3 1 日 まで

株 式 会 社 野 田 自 然 共 生 フ ァ ー ム
(法 人 番 号 :5040001072121)

貸借対照表

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

代表者 今村 繁

令和 7年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(141,327,448)	I 流 動 負 債	(67,988,370)
現金及び預金	108,855,582	未払費用	13,956,446
売掛金	99,686	未払法人税等	4,155,165
棚卸資産	19,582,331	未払消費税等	322,000
前払費用	520,944	未前受金	5,372,400
未収入金	12,295,695	仮受金	41,754,613
仮払当金	43,110	源泉税等引当金	274,305
貸倒引当金	△ 69,900	賞与引当金	441
			2,153,000
II 固 定 資 産	(221,873,057)	II 固 定 負 債	(13,738,300)
有形固定資産	(220,688,846)	長期未払引当金	8,442,300
建物	22,264,288	退職給付引当金	5,296,000
構築物	859,676		
機械及び装置	19,257,125		
車両運搬具	12		
工具、器具及び備品	343,358		
建物附属設備	1,846,142		
土地	176,118,245		
無形固定資産	(50,000)		
保証	50,000		
		負債の部合計	81,726,670
		(純 資 産 の 部)	
		I 株 主 資 本	(281,473,835)
		1. 資 本	100,000,000
		2. 資 本 剰 余 金	(183,032,296)
		(1) 資 本 準 備 金	155,275,000
		(2) そ の 他 資 本 剰 余 金	(27,757,296)
		(2) そ の 他 資 本 剰 余 金	27,757,296
		3. 利 益 剰 余 金	(△ 1,558,461)
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	(-1,558,461)
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	△ 1,558,461
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	(0)
III 繰 延 資 産	(0)	III 新 株 予 約 権	(0)
		純 資 産 の 部 合 計	281,473,835
資 産 の 部 合 計	363,200,505	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	363,200,505

損 益 計 算 書

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

令和 6 年 4 月 1 日 から
令和 7 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 売上高 農産物売上高 業務受託収入 市民農園収入等 作付助成金・交付金収入	23,568,484 143,828,788 1,062,357 76,729,081	245,188,710 245,188,710
II 売上原価 期首棚卸高 市場出荷販売手数 当期製品製造原価 期末棚卸高 売上総利益	758,725	228,520 758,725 223,490,462 224,477,707 81,915 224,395,792 20,792,918
III 販売費及び一般管理費 販売費 営業一般管理費 損失		48,094,822 48,094,822 27,301,904
IV 営業外収益 受一般取 雑取 補助配当 利息収入 雑収入		8,736 293,000 100 14,764,762 15,066,598
V 営業外費用 支払 雑損 利息 損失		6,526 100 6,626
経常損失		12,241,932
VI 特別利益 固定資産 前期損益 売却修正 利益 雑益	45,474,201 1,304,166	46,778,367
VII 特別損失 特別 損失		0 0
税引前当期純利益 法人税、住民税及び事業税 当期純利益		34,536,435 323,343 34,213,092

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和6年4月1日から
令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
旅 費	1,504
広 告 宣 伝 費	767,037
送 配 達 費	2,691
イ ベ ン ト 費	405,028
役 員 報 酬	8,565,800
事 務 員 給 与	17,771,492
従 業 員 賞 与	2,232,000
法 定 福 利 費	3,837,954
厚 生 費	356,535
退 職 金	420,000
減 価 償 却 費	46,978
賃 借 料 ・ リ ー ス 料	2,622,700
修 繕 費	49,000
事 務 用 消 耗 品 費	1,610,781
通 信 費	2,668,727
水 道 光 熱 費	625,502
租 税 公 課	246,310
接 待 交 際 費	8,010
備 品 消 耗 品 費	1,813,263
管 理 諸 費	2,846,449
一 般 車 両 関 係 費	39,500
函 書 費 ・ 研 修 費	424,373
交 通 費	393,453
貸 倒 償 却 費	4,500
雑 費	335,235
合 計	48,094,822

棚卸資産の計算内訳

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
農 産 物	81,915
原 材 料	659,114
未 収 穫 農 産 物	12,931,071
貯 蔵 品	5,910,231
合 計	19,582,331

製 造 原 価 報 告 書

令和 6 年 4 月 1 日 から
令和 7 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
I 材 料 費	
期首材料棚卸高	213,925
種 苗 費	1,900,022
合計	2,113,947
期末材料棚卸高	659,114
当期材料費	1,454,833
II 労 務 費	
賃 金	72,871,033
賞 与	8,683,300
退 職 金	403,000
法定福利費	12,736,897
厚生費	2,466,054
当期労務費	97,160,284
III 経 費	
肥料費・農薬衛生費	16,293,008
外注作業費	444,545
電力費	3,401,773
軽灯油等燃料費	12,492,547
運賃	44,497
減価償却費	13,501,377
修繕費	20,913,007
租税公課・負担金	1,006,300
賃借料・リース料	26,431,588
共済掛金・保険料	1,440,385
諸 資 材 費	9,021,916
農 具 費	119,818
交 通 費	1,768,387
図書費・研修費	661,418
車両関係費	2,919,368
土地改良費・水利費	2,079,231
雑 費	2,920,142
当期経費	115,459,307
当期総製造費用	214,074,424
期首農産物等棚卸高	22,347,109
合計	236,421,533
期末農産物等棚卸高	12,931,071
当期製品製造原価	223,490,462

第21期（令和7年度）事業計画

自 令和 7年4月 1日

至 令和 8年3月31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稻の生産を行うと共に、自然環境保全管理業務など、更に自然と共生する農業を推進してまいります。

また、水田型市民農園は引き続き開催しますが、利用料金や配付米の適正化等について検討してまいります。

船形地区においては、引き続き麦及び大豆の生産・販売、小船橋水辺公園の管理業務等を行ってまいります。

農業人材育成事業においては、人参、枝豆を中心とした野菜の生産・販売の実務研修を行うと共に、新たな取組として、野田市と協議しながら有機農業の推進に努めてまいります。

更に、野田市からの受託事業として、野田市堆肥センター運営業務、コウノトリ飼育及び施設等管理業務、木野崎農業構造改善センター運営管理業務等の管理業務を行ってまいります。

なお、農業経営については、引き続き効率的経営に努め、安定経営を目指してまいります。

1 江川地区の農業事業

現在でも圃場の含水率が高く作付けが困難な状況ですが、引き続き圃場の再整備を図り、安定した収穫を目指してまいります。

(1) 圃場整備作業

水稻生産予定区域において、圃場整備作業を実施します。

1) 作業内容 除草作業・水路の整備作業・均平整地作業・畦畔整備作業等

(2) 水稻生産

1) 生産目標面積 約 4.5ヘクタール（市民農園圃場含む）

2) 目標収穫量 約 10トン

(3) 水田型市民農園の実施

面積 約 1.2ヘクタール

募集内容 ファミリー型 300区画（300名）

オーナー型 20区画（1区画5名以上・15名迄）

(4) エコロジカル・ネットワークへの取組み

1) コウノトリ野生復帰計画への全面的協力

2) 水路整備（魚道整備含む）

3) 里地里山の保全

4) 令和7年度「田んぼの学校」指導者養成研修：研修会場提供協力

(5) 江川地区自然環境保全管理業務

江川地区自然環境保護対策基本計画書及び第2期生物多様性の戦略に基づき、生物多様性が保全された江川地区を将来にわたり維持し、江川地区の里地・里山を良好に保全管理するため、引き続き必要な業務を行おうとするものです。

なお、近年、イノシシの目撃情報が寄せられたり、田んぼ内に徘徊痕が多く出現するようになったことから、野田市や猟友会と連携し、必要な防止対策を講じて参ります。

(6) 学校法人野田鎌田学園米作り実習体験

令和7年度から食育授業の一環として江川地区に水田を利用し、田植えから草取り、稲刈りの体験実習に協力します。

現時点の概要は以下のとおりです。

- 1) 参加人数 生徒150名・教員7名
- 2) 利用面積 20.1a (市民農園オーナー企画で13区画に相当)
- 3) 使用料金 約80万円の見込み (人件費や肥料代等含む)
- 4) 配付米 780kg (精米)
- 5) 開催日

田植え	令和7年4月30日 (水)	予備日5月 1日 (木)
草取り	令和7年6月17日 (火)	予備日6月18日 (水)
稲刈り	令和7年9月 2日 (火)	予備日9月 3日 (水)

2 船形地区の農業事業

(1) 麦及び大豆の生産

引続き、船形互助転作組合から水田を借地し、麦及び大豆の生産を行います。
生産にあたっては、千葉県東葛飾農業事務所の技術指導を受けて栽培基準に基づき適正に作業管理を行うと共に、研修等を通して栽培技術の向上並びに品質及び収穫量の向上に努めてまいります。

適期作業の励行	気象条件と作業適期の検討	随時
土壌検査	地力、施肥量の把握	年2回
研修会	社内外研修会	年4回程度
令和7年産麦生産目標 (令和7年6月収穫予定)	作付面積 大麦(カシマムギ) 小麦(さとのそら) 目標収穫量 大麦 小麦	60.1ha 9.9ha 50.2ha 229t 35t 194t
令和8年産麦生産目標 (令和7年11月播種予定)	作付面積 大麦(カシマムギ) 小麦(さとのそら)	62.2ha 10.0ha 52.2ha
令和7年産大豆生産目標 (令和7年12月収穫予定)	作付面積 目標収穫量	45.5ha 80.0t

(2) 枝豆オーナー制度

野田市農産物ブランド化推進協議会からの開設依頼により、引き続き枝豆オーナー制度に係わる農園を継続開設しようとするものです。

3 農業関係施設の運營業務

(1) 野田市堆肥センター運營業務

廃棄物の発生抑制、再利用を促進し、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理、もみ殻と牛ふんを使った有機肥料の生産と運搬散布を行い、市独自の有機肥料を使って生産した農作物のブランド化を推進するため、適切な施設管理を行ってまいります。

また、野田市畜産クラスター推進協議会が実施する粳米SGS(ソフト・グレイン・サイレージ)加工作業についても、引き続き受託しようとするものです。

(2) 木野崎農業構造改善センター施設管理業務

引き続き、施設管理業務仕様書に基づき、適切に施設管理業務を受託しようとするものです。

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設管理を図るため、引き続き受託しようとするものです。

(2) はきだし沼周辺田の整地業務

希少生物の保護を図るため、引き続き受託しようとするものです。

(3) 関宿落堀ビオトープ管理業務

関宿落堀の良好な自然環境を維持するため、引き続き受託しようとするものです。

(4) 尾崎地区保全業務

尾崎地区の生物多様性の保全された良好な自然環境を維持するため、引き続き受託しようとするものです。

5 コウノトリ飼育及び飼育施設等管理業務

コウノトリについては、平成27年から令和5年まで毎年1羽以上の雛の放鳥を行い、令和6年には初めて野外個体の繁殖に成功しました。

引き続き飼育個体の適切な飼育管理に努めるとともに、野外個体の繁殖を目指してまいります。

なお、餌生物の調査や、草地または水辺環境の整備も継続し、施設の展示の充実と来館者への解説を通して、コウノトリの生息環境や生態についての普及啓発に努めます。

6 農業人材育成事業

引き続き、人参、枝豆を中心とした栽培を行い、昨年度から取り入れたブロッコリーの作付面積を増やす計画で進めてまいります。

また、基幹農作物以外に就農希望者自ら栽培したい作物についても積極的に取り入れ、新規就農に向けた指導を行ってまいります。

なお、新たな取組として、有機農業の推進を図るために実践圃場を借地したことから、今後、野田市が立ち上げた「野田市有機農業研究会」や有機農業の指導者等から指導助言を受けながら、有機農業の推進を図ってまいります。

第 21 期 予算 (案)

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日 単位：千円

収入				支出				
項目	予算額			項目	予算額			
	第20期	第21期	比較		第20期	第21期	比較	
1 農業生産売上	50,627	50,041	-586	1 農業製造原価	241,631	255,475	13,844	
(1) 水稲売上	2,000	2,000	0	(1) 材料費	3,097	504	-2,593	
(2) 麦売上	5,000	5,000	0	(2) 労務費	35,857	41,497	5,640	
(3) 大豆売上	7,000	7,000	0	(3) 農業経費	63,927	61,313	-2,614	
(4) 市民農園売上/枝豆売上	862	3,221	2,359	① 肥料費・農業衛生費	21,705	22,865	1,160	
(5) 経営所得安定対策等(国)	35,765	32,820	-2,945	② 電力費	1,749	1,573	-176	
2 農業受託売上	155,221	170,964	15,743	③ 軽灯油等燃料費	4,000	4,000	0	
受託業務	① 小船橋水辺公園管理業務	1,810	1,909	99	④ 修繕費	4,950	3,300	-1,650
	② 自然環境保全管理業務	7,203	7,490	287	⑤ 賃借料・リース料	1,870	1,320	-550
	③ 堆肥センター管理業務	103,598	113,472	9,874	⑥ 共済掛金・保険料	1,930	1,930	0
	(堆肥センター)	56,455	58,201	1,746	⑦ 麦団地賃借料	18,300	18,000	-300
	(もみ殻施設)	47,143	55,271	8,128	⑧ 土地改良費・水利権	2,086	2,086	0
	④ 木野崎農業構造改善センター管理業務	2,368	2,782	414	⑨ その他	7,337	6,239	-1,098
	⑤ 休耕地草刈等	1,196	1,346	150	(4) 小船橋水辺公園管理業務	1,661	1,752	91
	⑥ コウノトリ飼育管理業務	19,744	22,392	2,648	(5) 自然環境保全管理業務	6,608	6,871	263
	⑦ 冬期湛水水田管理業務	534	534	0	(6) 堆肥センター運営業務	94,181	103,156	8,975
	⑧ 関宿落堀ピオトープ管理業務	420	571	151	(7) 休耕地草刈等	1,122	1,236	114
⑨ 農業人材育成事業	18,348	20,468	2,120	(8) コウノトリ飼育管理業務	18,112	20,542	2,430	
3 補助金収入	10,479	10,392	-87	(9) 関宿落堀ピオトープ	386	524	138	
(1) 県補助金	6,729	6,632	-97	(10) 農業人材育成事業	16,680	18,080	1,400	
(2) 市補助金	0	0	0	2 販売及び一般管理費	31,901	42,689	10,788	
(3) 農業人材育成事業	0	0	0	(1) 木野崎農業構造改善センター運営管理業務	2,172	2,552	380	
(4) 転作定着化促進事業	0	0	0	(2) 人件費等	23,297	30,559	7,262	
(5) 地上防除奨励金・薬剤購入補助金	3,750	3,760	10	(3) その他	6,432	9,578	3,146	
4 雑収入	64,606	13,800	-50,806					
補償料等(線下補償等)	13,800	13,800	0					
農地売却金	50,806	0	-50,806					
小計	280,933	245,197	-35,736	小計	273,532	298,164	24,632	
5 資本金・資本準備金	16,807	0	-16,807	3 就農支援事業費	0	0	0	
6 借入金	0	22,514	22,514	4 退職金積立金	737	1,044	307	
7 期首繰越現預金	0	63,510	63,510	5 機械等購入費	23,471	32,013	8,542	
				6 農地取得費	0	0	0	
小計	16,807	86,024	69,217	小計	24,208	33,057	8,849	
合計	297,740	331,221	33,481	合計	297,740	331,221	33,481	